

「石見地区 美術講習会・コンクール」に参加しました。(6/3)

本来なら三瓶の青少年交流の家で宿泊をして実施される講習会ですが、ここ数年は日帰りだったり、中止となったり、となかなかじっくり描く会として開催されていません。今年度も、急遽、会場を江津に変更して実施されることになりました。部員たちにとっては馴染みのある地域での開催ですが、普段見慣れている場所でも、じっくり向き合うことで、いつもとは違った視点による作品になりました。初夏の日差しの中で頑張っている部員6名の様子です。

江の川の土手で描く2人です。時折、強風にあおられながらも、思い思いの情景を描きました。

工場の煙突が印象的です。↓



↓ 江の川にかかる橋が主役です。



迷路のように入り組んだ小路で描きました。

↓ 普段は目にしない古い町並みに目をつけました。



←会場の「パレットごうつ」から駅前通りを面白い視点で描いていました。講評会で講師の先生からも褒めていただきました。

並んで座って「パレットごうつ」を描いた2人。水彩画の良さを生かして取り組みました。↓

最後は各校の作品が会場に勢揃い。それぞれを見て回って、いろいろと刺激をもらいました。



講評会の様子 →
勉強になりました

